

## まちづくり活動計画書

## 1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	片平学区子育て支援ネットワーク連絡会
まちづくり 活 動 名	片平学区・多世代交流の場づくり
活 動 地 域	名古屋市緑区片平学区
活 動 の 背 景	<p>（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。）</p> <p>令和元年度に片平学区連絡協議会が中心となり、「片平学区子育て支援マップ」を作成した。学区内にある子育て支援団体（幼稚園、保育園、学童保育所、トワイライトスクール、地域型保育事業所、NPO 法人など）をマップにし、事業内容を紹介したものである。子育て支援マップに掲載された子育て支援団体を中心に、2020年2月に集会を開催し、団体名を「片平学区子育て支援ネットワーク連絡会」として発足。</p> <p>令和2、3年度に名古屋都市センターのまちづくり助成を受けた。コロナ感染症感染予防の観点から活動が制限される中ではあったが、感染予防対策を徹底し、総会&amp;ワークショップ、交流イベント「クリスマス☆スタンプラリー」、子どもの人権講演会等を開催することができた。これらの活動を通じて、構成員同士の関係性が生まれ、協力体制が徐々にでき始めている。そして令和3年度に開催したプレパークでは、構成員だけでなく多世代に渡る地域住民の参加が見られた。継続的に片平学区の地域コミュニティの活性化を図りたい。</p>
目的・目標	<p>（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください）</p> <p>■目的：片平学区内にある子ども・子育ての支援団体が連携し、子どもたちの健全な育成支援と子育て環境の整備・拡充のための活動を行なう。また、このよう活動を通じて地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>■目標：団体に所属するそれぞれの構成員ができることや強みを生かし、互いに連携をはかりながら、片平学区の子ども・子育ての課題解決に共同で取り組むこと。当団体が実施している活動が、学区全体に認知され、賛同者を増やし、学区全体で子どもを育む土壌ができること。</p> <p>■成果：団体の活動をきっかけに、つながりが緩やかに広がり、さまざまな活動が開始されること。日常の業務においても情報交換や合同でイベントを開催するなど、助け合い・支え合いの風土が醸成されること。</p>

活 動 内 容	<p>(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <p>【活動内容・実施方法】</p> <p>■定例会の開催：連携・協働のための活動</p> <p>総会や定例会などの機会、各構成員の現状（コロナ禍から受けるこどもの心の育ち・こどもが遊びから学ぶ大切なこと）を情報共有し合う場や勉強会を提供する。顔の見える関係づくりをすることで各々の強みを生かして協働できるように働きかける。</p> <p>■防災に関する学習会・情報交換会の開催</p> <p>昨年度はコロナ感染予防のため中止になった、片平学区の総合防災訓練を9月4日に開催する予定である。それに伴い、昨年度に引き続き、子育て支援ネットワーク連絡会の今年度のテーマの一つとして「子どもと学ぶ防災」を掲げる。</p> <p>「子どもと一緒に学ぶ防災講座」</p> <p>みどり防災ボランティアのメンバーを講師に招き、小学生を対象とした防災学習会を実施する。こどもたちが災害時にどんなことに困るのか、不安に思うのか、そして防災についての疑問や知りたいことを子どもたちに聴き、子どもたちの声から生まれる防災講座を開催する。大人が用意するプログラムではなく、子どもの声を大切にしたプログラムにする。災害を自分事として子どもたちが思い、防災について積極的に関心を持ってもらうことを目的とする。</p> <p>■季節行事、イベントの開催</p> <p>①「かたひらプレパーク」</p> <p>昨年度開催した、構成会員の声から始まったプレパークが大好評だったので、今年度も開催日時を増やしプレパークを3回開催する。8月、11月、1月に開催。遊びから季節感を味わい、子どもも大人もその場を一緒に楽しめる交流の場づくりをする。今年も名古屋市で実践しているプレワーカーにもアドバイスを求めて実施する。</p> <p>②勉強会：「こどもが遊びから学ぶ大切なこと」</p> <p>プレパークで子どもたちが主体的に遊び場をつくるために、「子どもたちは遊びから何を感じなのを学んでいるのか」を子育て中の親や子育てに関心がある大人、そして地域の大人達が学ぶ勉強会を開催し、地域のみんなでプレパークをつくっていくことを目的とする。</p>	
	<p>活 動 予 定 期</p> <p>令和4年 4月 ～ 令和4年 3月</p>	
	<p>助成金交付申請額</p>	<p>100,000円</p>

## 2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

<b>審査基準①</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざしたまちづくり活動内容か</li> <li>・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か</li> <li>・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か</li> <li>・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か</li> </ul>
<b>必要性</b>	
(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動地域を緑区片平学区とその周辺地域に限定している。「子ども・子育て」を中心とした活動であるが、目標とするところは、地域とのつながりづくりである。地域の人びとにあたたく見守られながら成長し、地域に愛着をもち、いつか地域に貢献する大人になることを目指し、片平学区の多世代の住民を巻き込んだ活動にしている。</li> <li>・団体の自立的な運営基盤を強化し、活動を展開するために、住民特に子育て世代に団体の活動を知ってもらい、活動の参加者や協力者を増やす必要がある。広報活動(ポスターの貼付、チラシ配布、イベントの開催など)の強化・拡大は欠かせない。</li> <li>・団体ができて間もなく、通信費や消耗品費は会員の寄付金で賅っている。経済的な面でも自立的・持続的な活動をするために、助成金が必要である。</li> </ul>	
<b>審査基準②</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容が具体的になっているか</li> <li>・活動内容の資金計画などは妥当か</li> <li>・人員や規模などは妥当か</li> </ul>
<b>実現性</b>	
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年から2年余りの活動で、少しずつではあるが、構成員同士の関係が構築され、団体の運営や活動計画などを話し合い、共有できる体制ができている。</li> <li>・構成員の中には学区連絡協議会の役員がおり、地域で連携・協力できる体制がある。また、住民には回覧板等を通して、団体が実施するイベントの告知、協力依頼が可能である。</li> <li>・現在、構成員は20名程度である。会の運営方針の検討、イベントの企画運営、広報など、構成員から事務局を担うメンバーとなり運営を進めている。今後も運営委員を募り、地域にあった活動を行っていく。</li> </ul>	
<b>審査基準③</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか</li> <li>・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか</li> </ul>
<b>発展性</b>	
(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブや女性会などの地域団体にも声をかけ、子ども会や学童保育所などが行うイベントへの参加・協力を促進し、住民が持っているさまざまな能力やスキルをコミュニティの中で生かしながら活動ができる仕組みを検討する。</li> <li>・片平学区にある千句塚公園を活用した子ども遊び場(プレパーク)を令和5年度には毎月の開催を予定。実現に向け、名古屋市緑区役所民生こども課と協議を始めている。月に1回の開催ではあるが、誰もが安心して集える屋外型の地域の居場所づくりを目指す。</li> <li>・災害などの緊急時の共助を可能にするためには、普段からの住民同士の関係づくりが不可欠である。地域の防災訓練には現状ではあまり参加していない層である、子ども・子育て世代にも関心をもってもらえるように、子どもたちが思う災害についてのアンケートをとり、子どもの気持ちに寄り添える、子ども中心の防災講座を開催する。主に小学生を対象とする。</li> </ul>	

3 活動にあたり他団体(町内会、自治会他)、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・片平学区連絡協議会</li> <li>・片平学区民生児童委員協議会</li> <li>・緑区保健センター保健予防課</li> <li>・緑区役所福祉部民生子ども課</li> <li>・緑区社会福祉協議会</li> <li>・こどもNPO</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、協力を要請している。</li> <li>・イベントの参加や広報に関して協力をいただくとともに、必要に応じて、助言指導をいただく。</li> </ul>

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

## まちづくり活動の実施スケジュール

- ・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。
- ・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
	4	総会準備 防災講座についての打ち合わせ	
	5	総会	・令和3年度活動報告 ・令和4年度活動計画 ・LINEのオープンチャットを使った連絡ツールの使い方について
	6		
	7	学習会	講師を依頼し、地域の子育て中の親子や子育てに関心のある大人・学生を対象とした「こどもの育ち」についての勉強会の開催。
	8	子どもと楽しむ交流イベント（プレパーク）夏バージョン	屋外（千句塚公園を予定）で、多世代でゆるやかに交流できる場の提供。
	9		
	10		
	11	子どもと楽しむ交流イベント（プレパーク）秋バージョン	屋外（千句塚公園を予定）で、多世代でゆるやかに交流できる場の提供。
	12	防災講座	こどもや子育て中の親子の声をもとに、防災講座の内容を決め講座を開催する。対象は地域のこどもたちや親子、そして地域住民。
	1	子どもと楽しむ交流イベント（プレパーク）冬バージョン	屋外（千句塚公園を予定）で、多世代でゆるやかに交流できる場の提供。
	2	定例会	講師を依頼し、片平学区子育て支援ネットワーク連絡会の会員を対象とした「こどもの育ち」についての勉強会の開催。
	3		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

## まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
<b>まちづくり活動助成金（申請金額）</b> ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				100,000円
活動経費の内訳	消耗品費	定例会、ワークショップ等 交流イベント	コピー用紙、封筒、文房具類等の事務用品 講師、参加者への飲料等 プレパーク用備品	25,000
	通信費	広報活動	議事録、チラシなどの発送費用 (構成員、緑区内外の子育て支援団体、行政機関等)	3,000
	印刷費	勉強会、交流イベント等	チラシ、配布資料の印刷費用 ・子どもの災会講座チラシ 400部 ・プレパークチラシ 400部×3回 ・「子どもの遊び」勉強会 400部 ・総会・定例会等、資料印刷代	10,000
	賃借料	勉強会会場	成海神社（社務所）等	5,000
	謝金	イベント 交流イベント	講師謝礼 ・プレパーク指導員兼講師（各1名） 10,000円×3回 ・勉強会（各1名）10,000円×2回	50,000
	その他	交流イベント	参加者の傷害保険 (社会福祉協議会で申込み) ・定例会2回 ・防災講座 ・勉強会 ・プレパーク3回	16,000
<b>支出合計</b>				<b>109,000</b>

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

